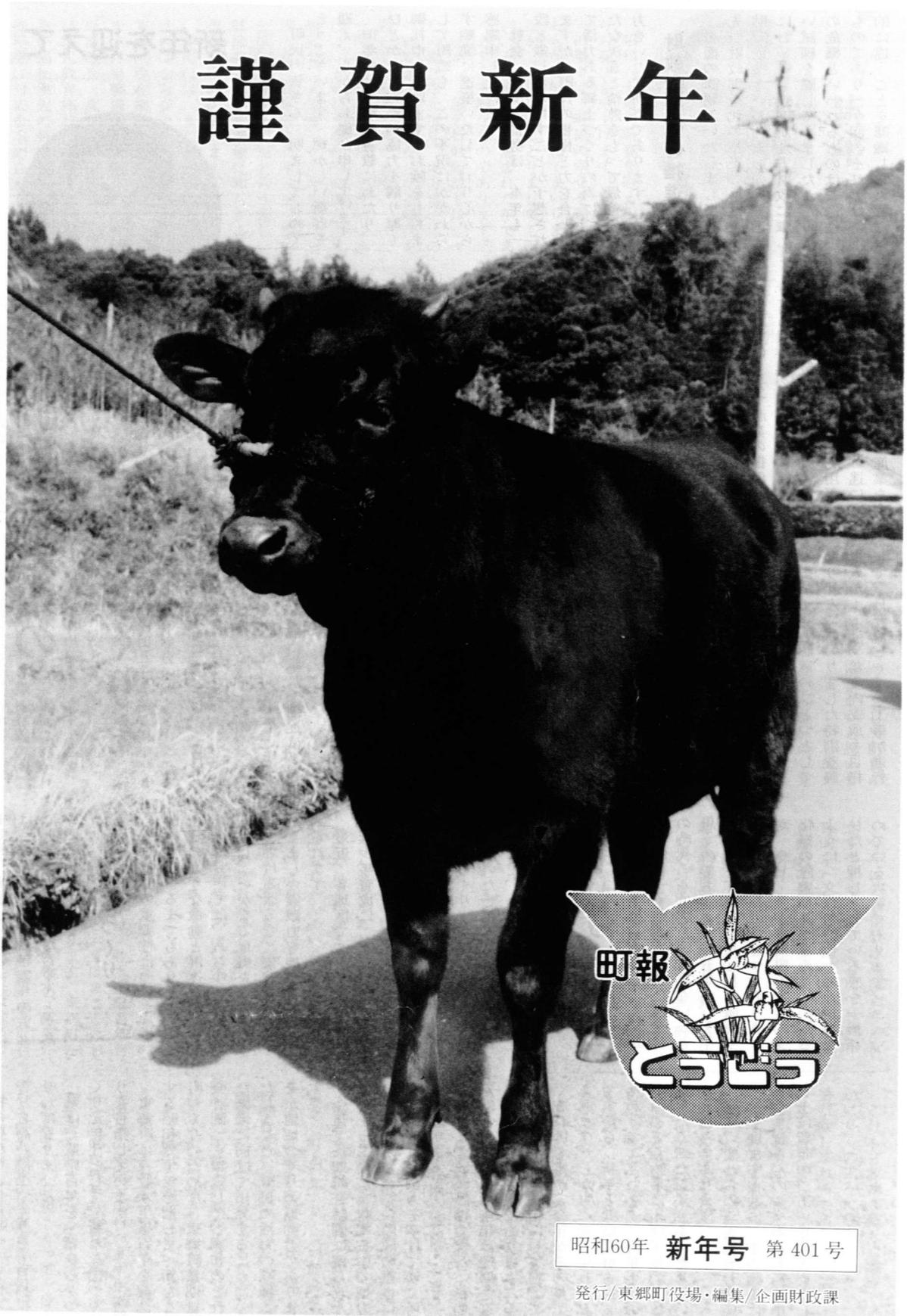


謹賀新年



昭和60年 新年号 第401号

発行/東郷町役場・編集/企画財政課

新年を迎えて



**調和と繁栄の
郷土づくりを**

町長 甲斐 斐 誌 朗

町民の皆さん、明ましておめで
とうございます。輝かしい新春を
迎え、心からお慶び申し上げます。
旧年中は、町政各般にわたり、
ひとかたならぬ御協力を賜り厚く
御礼申し上げます。お陰をもちま
して町政も、この不況にかかわら
ず順調に進展いたして、お心から
感謝申し上げます。

社会、経済の情勢は、本年も一
段と厳しさを増すことが予想され
ますが、町民の皆様と力を合わせ
て活力ある郷土づくりの為に、新
たな決意と情熱をもって最善の努
力をいたす所存であります。

財政健全化の推進

当面の課題といたしましては、
先づ財政健全化の推進であります。
財政危機といわれるものは、過去
においても幾度か地方財政に厳し
い試練を課してきましたが、今迄
の危機といわれるものは一過性の
ものであり、今回のそれとは基本
的に違うことを認識しない訳には

まいりません。
国は、財政危機が来るところま
で来た状況の中で、前年度に引き
続き経常経費をマイナス十パーセ
ント、投資的経費についてもマイ
ナス五パーセントという厳しい概
算要求枠を設定し、県も同様の超
緊縮、耐乏型の方針を打ち出して
います。

町としましては、それらの抑制
政策を受けざるを得ないものと
よりであります。県内でも屈指
の財政硬直化団体となっている現
状を直視し、健全化に向けての財
政運営に更に一層の努力をいたす
所存であります。

農林業振興対策

行政執行に当たっての基本目標と
しましては、先づ産業の振興、わ
けても農林業の振興対策に重点を
置いて鋭意努力をいたしている
ところであります。水田利用再編
対策や農林畜産物価格の低迷にも
見られるとおり、農林畜産業をめ

ぐる情勢は誠に厳しく前途は多難
であります。
土地改良事業等の生産基盤の整
備をはじめ、新規作物の開発、流
通対策等の諸政策と合せ関係機関
との連携を積極的に推進する中か
ら活路を開きたいと願っております。

企業の誘致

次に、町民の働く場づくりであ
りますが、既に町内に立地してい
る企業においては、いづれも順調
にその業績が伸びており誠に頼も
しい限りです。町としては、更に
雇用の拡大を進めるため、新たな
企業の誘致にも努力いたし、幾つ
かの具体的な進展も見つあると
ころであります。

福祉対策

また、弱者対策のひとつとして
取り組んでまいりました特別養護
老人ホームは、年度内完成を目指
して、只今急ピッチの工事が進行

中であり、完成のあかつきに
は、体の不自由なお年寄りの方々
に大きな福音をもたらすことであ
りましょう。

豊かな人づくり

人づくりの重要性については、
改めて述べるまでもありませんが
今日のような激動と混迷を深める
社会においては、あらゆる事態に
即応し、いかなる危機をも乗り越
えていけるような、優れた知恵と
たくましい実践力を持つ人間が求
められます。

最近、各地区でスポーツを通じ
た青少年育成に、ボランティアの
活動が盛んになってきたことは誠
に喜ばしい限りで、学校教育の充
実と相俟って「知恵と行動力の豊
かな人づくり」を目指して、更に
努力をいたしたいと思っております。
また、今年も牧水生誕百年を
迎え、町民あけての記念行事が行
われる年でもあります。

新しい町づくり

これから先の日本は、まさに「地
方の時代」を迎えるのではないかと
思うのであります。五年前、大平
元首相が、ゆつたりとした演説で
語ったくだりのひとつであります
が、今日、我が東郷町も近年の文
化祭の隆盛ひとつをみてもわかる
ように、「文化の時代」の波がひた
ひたと押し寄せている感を一層深
めている次第であります。

物の豊かさ合わせて、文化の
香りも高い郷土づくりをも目標に
せねばなりません。
県は、置県百年を「新ひむかづ
くり元年」として、新たな国づく
りを目指しています。
東郷町は、牧水生誕百年を記念
する昭和六十年を期して、新たな
町づくりのために「東郷町長期総
会計画」を策定して、調和のとれ
た繁栄に向けて出発することに
いたしました。町民の活力の發揮こ
そが地域づくりの原動力でありま
す。

今後、長期総合計画に盛り込ま
れた内容を十二分に吟味する中で地方
の時代にふさわしい町政の推進に
町議会共々に全力を挙げてゆく所
存であります。

私ごとで誠に恐縮ですが、私個
人にとりましては本年は還暦を迎
えた記念すべき年であります。干
支(えと)は六十年にして巡って
くるわけですが、今年がその年で
あります。しかも、元日生れの私
ですから、新年と共に還暦を迎え
たわけでございます。丑年生れの
牛のごとく物事にめげず猛(もう)
進したく新たな決意をいたしてい
るところであります。

何卒、変わらぬご支援をお願い
申し上げますと共に、年の始めに
あたり皆さんのご多幸をお祈り申
上げ新年のごあいさつといたし
ます。

新年のごあいさつ



議長 原田 昇

昭和六十年の新春を迎え、心か
らお慶びを申し上げます。
旧年中は、町民の幸せを願って
あらゆる努力を重ねてまいりまし
たが、今年も町にとりましては町
民にとりましては恵まれた年であ
ります事を願うものであります。

しかし、国の行政改革は益々
その激しさを増し、地方自治体の
行政運営も容易ならざる時代を
迎えているのであります。
国の国債残高も百二十兆円に達
していますが、本町の公債(借金)
残高も二十五億三千六百八十八万
円となり経常収支比率八五・四％
公債比率一五・二％と言う苦しい
財政事情にあり借金に頼らざるを
得ない現状にあります。

本町には、まだ早急に実施しな
ければならない事業が多くありま
すが、現在継続事業で行っており
ますほ場整備事業、道路、橋等の
新設改良、農林業の振興、学校及
び幼児教育施設の充実、文化施設
及び福祉優先の行政需要の多様化
等早急に対応を求められるものは
かりであります。

この様な厳しい時代にこそ、良
く問題を把握し、正しい判断と展
望のもとに時代にふさわしい適時
適切な行政の執行が必要と思われ
ます。昨年同様今年も厳しいマ
イナスシーリングの年であります
ので国県や町が協力し、この財政
危機を克服して行かねばならない
と思っております。

昨年を振り返って見ますと、町
民が待望しておりました特別養護
老人ホームの設置をみることで
き、大変喜しい事でありました。
現在、東郷病院横の町有地であ
った所に四月開園をめぐして建設
中、寝たきり老人のおられる家
庭におきましては大変喜ばしい施
設ではないかと思っております。

昭和五十八年九月定例議会にお
きまして、本町議会議員の定数は
何人が適切であるのか調査検討し
てみてはどうかという議員提案が
なされ、所管の総務委員会に付託
され、その後一年間にわたって県
内の類似町村の定数等の調査を行
いました。この間、町民の意向と
国が進めております行政改革を酌
み入れ慎重に審議検討の結果、現
行定数十八名を二名減じ十六名に
しても議会活動並びに住民の福祉
に支障をきたさないと結論に達
し、条例の改正を議決した次第で

す。このことにつきまして町民の
皆様の御理解を頂きたいと思いま
す。
町の財政もさることながら、先
づは何と申しまして町民一人ひ
とりが、健康で豊かな生活が出来
る事が何よりであります。その
為には農林業の振興と農工併進の
いわゆる企業誘致を行い、若い男
女の働く場づくりが大事と考え企
業誘致に取組み中であります。
企業が進出したしますと、働
く場所が確保され、町民の所得向
上と共に町の財源が潤うことにも
なるのであります。

年頭のごあいさつ



明けておめでとうございま
す。町民の皆さん、ご家族おそろ
いで良きお正月をお迎えになられ
たことと存じます。

大晦日の除夜の鐘とともに過ぎ
て行った昭和五十九年、旧年中は
町の教育行政に、いろいろと協
力いただきありがとうございます。
深く感謝申し上げます。さて、
新しい年を迎え、ご家庭におかれ
ましては、各種各様に意義のある
年でありましょう。幼稚園から、

今年、若山牧水生誕百年の記
念すべき年でありまして、延岡市
日向市、と共に生誕百年記念事業
を盛大に挙げる運びとなってお
り、本町にとっても意義深い年
なると思われたい。

本町の発展のため万難を排し、
献身的努力をする決意を新たに
いたしております。年頭に当り町民
各位の御多幸を祈念いたしますと
ともに、本年も格段のお力添えを
いただきますようお願い申し上げま
して新年のごあいさつといたしま
す。

はじめて小学校に入学される子ど
もさんを持っておられる家、還暦
をめたくむかえるおじいちゃん
おばあちゃんのいらつしやる家、
あるいはまた、いよいよ今年、
結婚式をあげるんだと胸はずませ
ている若者のいる家。どのご家庭
にも、幸せいっぱいのすばらしい
年でありますよう心からお祈りい
たします。

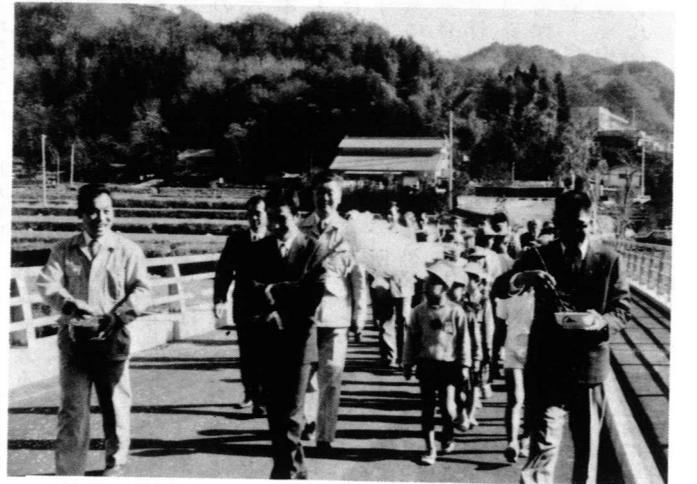
さて、すでにみなさんご承知の
とおり、今年、牧水生誕百年と
いう東郷町にとってはまことにお
めでたい年であります。東郷町が
生んだ偉大な歌人牧水、数多い
歌人のうちで、歌碑の数ですべて百
を数え、一番多いと言われる牧水。

これも、牧水の残した歌が、い
かに多くの人々に感動をあたえ、
また親しまれているかを物語って
いると言えましょう。実のところ
私は若き頃は、牧水の歌は幾つか
学校で習って知っていましたが、
牧水という人の「真の値打ち」と
いうものはよくわかりませんでした。
しかし、牧水の伝記をよみ、
歌をひとつひとつ味わつていく
うちに、牧水の「すばらしさ」がだ
んだんわかってきたように思われ
ます。

そしてまた、牧水と生活を共に
した人、牧水の周辺の人々から、
いろいろと牧水の「生きざま」を
聞かしてもらおううちに、牧水の歌
がますます私の心を動かしてくる
のを覚え、牧水を尊敬するよう
になりました。

このような偉大な歌人を生み、
はぐくみ育てた東郷町は天下に誇
り得るすばらしい町だと思いま
す。現在、町としても、この記念す
べき年に意義ある行事を行うべく実
行委員会を組織し、いろいろと計
画案をねらっているところであり
ます。いづれ、計画がまとまりま
したら、町民の皆さんにもお知らせ
してご協力を戴くことになってお
ります。また、今年の秋(十月二
十四日の子定)に行います生誕祭
には、県内外からもたくさんのお
客さんもみえられることでしょう。
みなさん、町民こそぞ、偉大
なる歌人牧水の生誕百年をお祝い
しようではありませんか。

通学に便利になりました 天神橋(越表)が完成



越表の天神橋が、つり橋から永久橋へと改築され、十二月十二日竣工式が行われました。

昭和五十五年一月七日の大雪により、柳原橋(つり橋)越表が落下したため、同じつり橋であった天神橋も同年より全面通行止となっていました。

このため、町では国の補助六千八百万円を受け、総事業費一億二百万円で、昭和五十六年から工事を進めてきたものです。

橋の延長六十二メートル、巾員六・五メートルで、うち片側に一・五メートルの歩道が設けられて

います。

現在、下渡川から越表小学校に通学する児童は四名いますが、この橋の完成により、今まで一時間三十分(越表橋経由)かかっていた通学時間が、二十分短縮され、一時間十分で通学できることになりました。

当日は、午前十一時から町長、町議会議員、地元関係者、越表小学校児童等約六十名が参加し、神事に引き続きテープカットが行われたあと、全員による渡りぞめが行われ完成を祝いました。

東郷町青少年健全育成町民会議では、次代を担う青少年が健やかに伸びるとともに、明るく住みよい町づくりを願う町内各小・中学生より「家庭の日」の実行、親子の触れ合い、話し合いなどについての作文、標語を募集した結果、作文九三点、標語一四七点の応募がありました。

審査の結果、次の人達が入選いたしました。

●作文

天賞 池田昌子 東郷小五年
地賞 直野省一 福瀬小六年
" 矢野晋也 " "
人賞 三浦恵理香 東郷小四年
" 新名幸子 福瀬小六年
" 黒木拓弥 越表小一年
佳作 松原悦子 東郷小六年
" 仁田 要 福瀬小六年
" 鶴田千代子 福瀬小六年
" 海野道明 越表小六年

240点の応募

青少年健全育成標語

作文決まる

◆標語

話し合い非行を防ぐ

第一章

東郷中学校 二年 矢野 弘樹

あいさつは明るい社会の

バロメーター

坪谷中学校 三年 三好 健二

育てようがまんと勇気と

思いやり

東郷小学校 四年 都 甲 未幸

話し合う親子の姿

明日がある

福瀬小学校 六年 新名 幸子

あいさつはみんながしってる

合言葉

越表小学校 六年 石田 かおり

おひねり一年生

町教育委員会が昭和五十九年二月一日現在で調査した、昭和六十年新入学予定児(昭和五十三年四月二日、昭和五十四年四月一日生)は次のとおりです。

なお、新入学予定児で名前が掲載されていない幼児については、保護者が直接教育委員会に申し出て下さい。

- (東郷小学校)
- 地区 就学予定者 保護者続柄
- 小野田 畝原 大樹 孝純 二男
笹瀬 健志 太 二男
工藤 淳平 文則 二男
寺原 賢一 良雄 長男
那須 洋平 末吉 長男
那須 信文 茂樹 長男
高森 修 長久 長男
高森 務 長久 二男
羽田 知史 和生 二男
谷口 陽 辰巳 長男
塩月 陽一 幹男 長男
那須 重光 善勇 長男
日高 重二 康 二男
黒木 千恵 えい子 長女
井上 美穂 尚之 長女
高館美由紀 保 長女
河野 朋美 幹彦 長女
桑田 明子 柳二 長女
橋口 美央 一雄 二女
畝原 睦 幸作 長女
- (福瀬小学校)
- 仲 深 黒木 孝夫 長女
福田 葉子 栄子 長女
山田 広子 豊 長女
寺原 衣美 佳宏 長女
藤井 邦博 柳太郎 二男
那須 良丞 春喜 長男
寺原 大悟 卓三 長男
福原 誠 健一 二男
黒木 友彦 辰蔵 長男
小林 富幸 岩根 三女
三浦寿佳子 寿光 二女
谷口 恵 博幸 三女
田中 甚郷 保雄 長男
河野 和樹 利男 長男
八重原 福畑 大介 己喜男 長男
佐藤 一代 義広 二女
黒木 千鶴 金喜 長女
松尾久美子 昇 長女
黒木 一央 義友 長男
迫野内 柏田 晋作 和登 二男
古川 里美 諭 二女
嶋田 尚子 康雅 長女
寺原麻衣子 忠男 長女
福谷 梨沙 集 長女
小川 幸信 勝正 長男
内田 孝之 勝利 長男
山川 祥昭 良一 二男
鶴野内 岩見 哲 次夫 三男
後藤 理奈 敏行 長女
福良 佳子 信一 長女

福瀬 直野 将臣 勝則 二男
直野慎太郎 幸信 長男



- 小林 真人 二幸 長男
甲斐 太 拓蔵 二男
川越 隆広 重義 二男
新名 政仁 良次 二男

- (坪谷小学校)
- 仲 深 前川 智昭 浩規 長男
水野 俊男 夫美雄 長男
那須 雄樹 郁雄 長男
海野 克行 森行 長男
直野 千穂 啓一 長女
富山 恵里 啓二 長女
黒木佳奈子 伸次 長女
井上みづ子 幸夫 二女

- (越表小学校)
- 越表 中俣 英明 憲尚 長男
山里 勇二 栄司 二男
海野亜理沙 保司 長女
- (寺迫小学校)
- 寺迫 海野 徳仁 誓生 長男
高野 謙二 幸俊 長男
橋口幸四郎 佐代子 長男
黒木 広志 定二 長男
中竹 正史 雄一 長男
黒木 清敏 勝行 三男
赤松 雄二 竹春 二男
黒木 寿 明司 二男
赤松 宏 春義 長男
赤松 祐喜 祐司 長女
小形 祐喜 祐司 長女
黒木佳奈子 孝信 長女
池田 美香 有一 長女
黒木 弥生 正弘 二女
黒木 孝子 邦寛 長女



一九八五年

農業センサス

農林水産省は、昭和六十年二月一日に、一九八五年農業センサスを実施します。

この農業センサスは、五年に一度実施される農業の基礎的調査で全国の農家と農家以外の農業事業体を漏れなく把握するものです。

二月の初めごろに、調査員が伺います。調査票には、農家の皆さんが直接記入する項目と、調査員が聞きとりにより記入する項目があります。

この調査結果は、国・県・町等が行う種々の農業行政の企画や実

施に当たっての重要な基礎資料となるものです。また、この結果は統計以外には絶対使用されませんので、安心して正しい申告をお願いします。



水田の「寒鋤」

地力の維持増進に効果

最近、農業情勢の変化により農業全体への意欲の低下が起り、省略農業が見受けられます。

特に稲栽培においては、金肥依存のやり方で有機物(推肥)の施用が少なく、地力の低下をきたしているようです。また、土壤改良についても一般に関心がうすいようです。皆さんも、水田の「寒鋤」の効果については、ご承知のことと存しますが、その方法について概要を述べてみたいと思います。

寒鋤は、地力の維持増進、雑草の抑制の効果があります。昔の牛馬による耕起作業に比べて、耕うん機が水田作業の主役になっていらい、寒鋤とは余り聞かれぬ言

葉となりまし。刈取の終わった水田の土を耕起反転し、冬の寒風にあてて土壌を乾燥させることにより、土壌中にある肥料成分を作物が吸収しやすい成分に変化させることができ、肥料成分の有効化をはかることができます。

土壌を乾燥することにより、雑草の種子及び地下茎が枯死するので、翌年の雑草の発生がなくなります。中でも、最近問題になっている「ウマバリ」等の発生は非常に少なくなりま。

寒鋤を実施される場合は、事前に推肥、珪カル、または炭カル、石灰窒素等の土壤改良資材を散布してから、耕うんすれば更に効果が高いと言われています。作業にあたっては、耕うん機のロータリ爪を両用鋤に取替えて反転耕起が出来るように実施してください。

石灰窒素を散布する際には、次のことに注意して実施されるようお願いいたします。

- ① 次の年の水稻の基肥は窒素成分を減らす。
 - ② 散布する時は、近くの作物にかからないように注意する。
 - ③ 散布当日は、アルコール類を遠慮した方がよい。
- 以上、簡単に水田の寒鋤について述べましたが、今年は今農家の皆さんが、こぞって休閑田の寒鋤を実行されるようお奨め致します。

農林課

税に関する作文から

税金について

東郷中二年 新名泰博



テレビで、やれ増税だとか減税だとか聞いたことはあったが、税金そのものについて考えるという事は、これを書こうとするまでまったく言っていないほどなかった。第一、僕達には全々関係ないものだと考えていた。ところが、全々関係がないどころか、大いに関係があるのです。

まず税金のことですが、税金と

きない文教・科学振興費が全体の九・六パーセントを占めています。僕達はこれまで七年間義務教育を受けてきましたが、その学校も税金によって成り立っているとはまったく知りませんでした。僕達に大いに関係があると書いたのはそのことです。僕は税金、税金といつてむずかしく考えすぎていたのかもしれない。それは本当に身近なところで使われているんだなと、あらためて感心させられました。

五十兆六、七二億円。これは、昭和五十九年度一般会計の予算です。そのぼう大な予算はどんな税から収入するのか、税の種類です。

職員を募集しています

特別養護老人ホーム法人

- ▼社会福祉法人玉峰会では、町立病院横に建設中の特別養護老人ホームの職員を次のとおり募集しています。
- ▼職種 寮母、調理員、生活指導員、栄養士、看護婦、介助員、事務員、用務員
- ▼学歴 学歴は問いませんが、高校卒業程度の能力のある方
- ▼応募年齢 18歳～50歳まで(ただし、用務員は普通自動車運転免許証を持っている方で55歳まで)
- ▼採用人員 職種により若干名
- ▼締切 昭和60年1月15日 午後3時まで
- ▼応募方法 履歴書(写真は六ヶ月以内のもの)に自筆し、希望職種を記入のうえ、町役場総務課に提出してください。
- ▼給与 社会福祉法人玉峰会の給与規定による。
- ▼その他 選考日は、決まり次第連絡いたしますが、簡単な筆記試験と作文を実施します。
- ▼問い合わせ 問い合わせは、役場総務課へ

経営移譲と税金

農業委員会日より

▼後継者移譲と贈与税

①使用貸借(無償の貸付け)による経営移譲...農地等については贈与税の課税対象になりません。

②所有権移譲(贈与)による経営移譲...農地等は通常は贈与税が課税されますが、贈与税の納税猶予の特例(参考)を受けると贈与税の納税が猶与されます。(注)貸借、(有償の貸付け)による経営移譲の場合にも、贈与税が課税される場合があります。

【参考】

贈与税の納税猶予の特例とは

贈与者が自分の農業の用に供していた農地の全部、採草放牧地と準農地(準農地とは、農用地区域内にある山林、原野等で農地または採草放牧地に開発して利用することが適当であるとして、市町村長が証明した土地)の三分の二以上を一括して一人の後継者に贈与した場合に贈与を受ける者は贈与税の納税猶予の特例が受けられます。ただし、次の要件を備えていなければなりません。

- 特例を受けるための要件
- ①贈与する人(親)経営移譲者の要件
- 贈与の日まで引き続き三年以上

農業を営んでいた個人でなければなりません。

②贈与を受ける人(後継者)の要件

- 贈与者の推定相続人(贈与者が死亡した場合に相続人になる者)の一人で、⑦年齢が十八歳以上
- ④引き続き三年以上農業に従事している。
- ⑦贈与後すみやかに農業経営を行うことの要件を満たしていなければなりません。

○申告手続・担保の提供

①申告期限(翌年の二月一日～三月十五日)内に贈与税の申告書に納税猶予を受ける旨を記載した書類を提出することが必要です。

②猶予税額等に見合う担保の提供が必要で

○特例を受けて農業を営む者が経営移譲をしようとする場合

納税猶予の適用を受けている農地等は、これを売り渡したり、貸し付けたりなどしますと、猶予が打ち切れ、猶予税額の全部または一部を納めなければならなくなります。ただし、後継者に使用貸借による権利を設定(無償による貸付け)して農業経営を移譲する場合だけは一定の要件のもとに猶予の打切りはありません。

○登録免許税や不動産取得税の特例

贈与税の納税猶予を受けますと次のような特例を受けることができます。

- (1) 贈与を受けた農地等を登記する場合は、登録免許税の税率が軽減されます。
- (2) 不動産の取得に対して課税される不動産取得税についても、贈与税の納税猶予とほぼ同様の内容で徴収が猶与されます。

後継者移譲と相続税

現に相続税の納税猶予の特例の適用を受けている経営移譲者(親)が後継者(子)に経営移譲する場合に所有権を移譲(贈与)して贈与税の納税猶予の特例の適用を受けるようにしないと相続税の納税猶予が打ち切られます。

第三者移譲と譲渡所得課税

(1) 農地等を売り渡した場合の特例

農業委員会のあつせんや農用地利用増進事業によって農用地区域内の農地等を第三者に売り渡して経営移譲すれば、売渡しによって得た所得から五百万円を控除した額で所得申告ができます。

この五百万円の特例控除を受けられる主な農地等の売渡し方法には次のようなものがあります。(いずれも農用地区域内にある農地等に限られます。)

- ①農業委員会のあつせんにより譲渡した場合
 - ②農用地利用増進法の規定に基づき譲渡した場合
 - ③農地保有合理化法人に譲渡した場合
 - ④農業者年金基金に譲渡した場合
- (2) 農地等取得した場合の特例
- 農地等を譲り受けて登記するときの登録免許税や不動産の取得に対する不動産取得税につきましても農業委員会のあつせんや農用地利用増進事業等によって農用地区

1月5日

牧水かるた大会 多数のご来場を

本年も、小・中学生による牧水かるた大会が中央公民館で、一月五日午後一時から開催されます。本大会も今回で第十回を数え、小学校二十五チーム、中学校十五チームの合計四十チーム、二百人が参加し、個人戦に団体戦にそれぞれ熱戦が繰り上げられることと思

町民の皆さんの多数のご来場をお願いします。



▲昨年の牧水かるた大会



域内の農地等取得した場合には軽減措置が受けられます。詳しくは町農業委員会事務局へお問い合わせください。



幼稚園児を募集

東郷・坪谷・寺迫の各幼稚園の園児を次のとおり募集します。希望者は、町教育委員会事務局に申し込みください。

- 一、入園資格
町内の通園可能な地区に居住する満四歳と満五歳の幼児（昭和五十四年四月二日から昭和五十六年四月一日生）、ただし、坪谷幼稚園については五歳児のみ募集します。
- 二、入園申込
入園申込書は、教育委員会事務局及び各幼稚園に準備してあります。
- 三、入園申込締切日
昭和六十年二月二十日（水）
- 四、入園決定
三月中旬までに各人宛通知します。

消防始式

昭和六十年の消防始式は、一月

七日（月）の午前七時四十分から町総合グラウンドで開催されます。当日は、各部の消防団員が全員出動し、規律訓練、機械器具等の点検、小型動力ポンプの操法競技が行われます。

心配ごと相談

次のおり心配ごと相談が実施されます。心配ごと・悩みごとなどどんなことでも遠慮なくご相談ください。

なお、各地区の相談員（民生委員）による地区相談も、毎週火曜日にそれぞれの相談員宅で開設していますので併せてご利用ください。

- ▽日時 1月16日 9時～15時
- ▽場所 老人福祉館

固定資産（土地・家屋）の移動届出は早目に

固定資産税については、毎年一月一日を賦課期日として課税いたします。

したがって、家屋の移動（所有権、取り壊し、新・増改築）土地の移動（例えば、台帳上は田でも現況は原野である）のある方は届け出をしてください。

この一月一日現在の現況が、昭和六十年固定資産税の基礎となります。届け出については一月末日までお願いいたします。なお、用紙

については税務課に準備してありますので申し出てください。不明な点は、役場税務課固定資産係へお問い合わせください。

行政相談

国の仕事をはじめ、国鉄・電々公社などの仕事、県や町の仕事に対する苦情や要望など相談に応じています。当日以外は自宅で受付けています。どんなことでも遠慮なくご相談ください。

- ▽日時 1月16日 9時～15時
- ▽場所 老人福祉館
- 東郷町仲深 行政相談委員 山口俊一

母子健康相談

- ▽期日 1月22日
- ▽場所 中央公民館
- ▽受付 9時30分～10時30分
- ▽対象 3・6・12ヶ月児及び妊産婦

▽内容 検尿、身体・血圧測定、保健指導など

一般健康相談

- ▽期日 1月19日
- ▽場所 老人福祉館
- ▽受付 9時30分～10時
- ▽対象 成人男女（特に四十歳以上）で、精密検診後、継続的な血圧測定、検尿などの必要な人

▽内容 血圧・体重測定、検尿、保健指導など

今月の納税等
町県民税四期
国民健康保険税八期
家畜共済掛金

善意のともしび

忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のために善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

◎越表の河野政和さんから（マサラさん・77歳ご死去）

まちのうごき

人口	6,391人 (+3)
男	3,073人 (+1)
女	3,318人 (+2)
世帯	1,768戸 (-3)
59年12月1日現在	
()は対前月比	

出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	住所
長渡貴将	和行	鶴野内
甲斐幸浩	重光	八重原
三原文忠	義	寺迫
寺原佳	稔	坪谷

結婚おめでとう

氏名	住所
松原政光	大阪府
稲田豊子	田野
原田憲二	鶴野内
小川岸子	田野
小路文喜	南郷村
寺原静代	鶴野内

ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
河野マサラ	77	越表
甲斐角治	87	鶴野内

